舞鶴小学校
学校だより

友の手を引く

２０１９年度
１０月１８日
文責
校長　渡邉　豪

※学校だよりのタイトル『友の手を引く』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。

第15回秋季大運動会を開催しました

令和元年９月２８日（土）に第１５回秋季大運動会を開催しました。９月下旬とはいえ，日差しが強い暑い日が続いていましたが，運動会当日は打って変わって曇天となり，児童にとって身体的なストレスが少ない状態で運動会を実施できたので，熱中症等のリスクも少なくなり，保護者の皆様も児童の精一杯の演技を集中して見守ることができたのではないでしょうか。

運動会に向けての取組を振り返ってみると，９月１２日（木）より運動会特別日課が開始され，学校全体が一気に運動会モードになりました。９月１２日以降は，毎朝８：４０から９：３５までが原則全校練習でした。全校練習では，「入場行進」「開閉会式」「応援合戦」「大玉送り」「リズムなわとび」「つなひき」など，全校で行う競技等の練習を入退場も含めて行いました。

全校練習を見ていて感じたことは，全校児童が登校直後に着替えて時間通りに集合する，ということは大変なことだと思うのですが，予定時間より前に整然と集合・整列することができました。また，厳しい日差しを浴びながら朝から活動することは，児童によってはストレスに感じる可能性もあります。しかし，気持ちを乱すことなく，各種目の練習に一生懸命に取り組むことができました。これは，なかなかできることではないと思います。１年生から６年生という精神的にも身体的にも発達段階が大きく異なる児童たちが，乱れることなく一体となって練習に取り組めるのは，本校に伝統的に引き継がれている良さの一つでしょう。

全校練習が終わると２校時以降，各学年や各ブロック（低学年・中学年・高学年）の練習が始まります。運動会当日から逆算して練習計画を立て，１日に２時間から３時間運動会の練習に取り組みました。運動会特別日課は，週休日や祝日を除いて１０日間ありましたが，児童は本当によく頑張りました。

【以下に当日の画像を掲載します。】

運動会当日を迎え，児童の精一杯の演技に大いに感動しました。児童一人一人が，本番までの取組を通して，仲間と関わり合い，支え合い，そして高め合うことを経験できた取組だったのではないかと思います。「一人では投げ出してしまいそうなことでも，仲間と取り組むから目指したところまで到達できた。」「友達を励まし，支える中で自分自身もさらに成長できた。」など，集団で目標をもって物事に取り組むことの大切さを，学んでくれたのではないかと思います。舞鶴小学校の子どもたち，本当によく頑張りました。